

NEWS RELEASE

2024年7月29日

日本板硝子株式会社

英国事業所にグリーン水素製造プラントを設置 - 2027年よりLowカーボンガラスの生産を拡大 -

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：細沼 宗浩、以下「NSG」）は、当社グループの英国の事業所である Pilkington United Kingdom Limited 社（英国セントヘレンズ、以下「ピルキントン UK 社」）のグリーンゲート事業所において、グリーン水素製造プラントを設置することを決定しました。

本プラントは、同国内で水素製造プラントの開発を行うグレニアン・ハイドロジェン社主導のもとで 2025 年に建設を開始し、2027 年より本プラントで生成された水素を活用して、当事業所内のフロート窯において Low カーボンガラスの生産を行う予定です。この計画は同社が政府から本計画の認可を受け、資金支援を受ける前提で進められます。

新設されるプラントは水素生成プロセスに再生可能エネルギーを使用し、1 日あたり最大 7 トンのグリーン水素を生成する計画です。この水素はすべてグリーンゲート事業所のフロート窯の燃料として供給され、Low カーボンガラスの生産に活用されることで、当事業所では年間 15,000 トンの CO₂ 削減効果を見込んでいます。



今回のプロジェクトは、2021 年に同事業所のフロート窯で行われた世界初の水素エネルギーによる建築用ガラスの製造実験の成功により、水素を使用して安全に操業ができることが確認されたことに基づいて実現しました。

さらに同事業所では、2023 年に販売を開始したカーボンフットプリントを 50%削減した世界最高水準の Low カーボンガラス「Pilkington Mirai™（ミライ）」の生産の他、地域内の型板ガラス生産設備を同事業所に移設し、型板ガラスとフロート板ガラスを単一の溶融窯で生産するなどの取り組みも行っています。

NSG グループでは、2050 年までのカーボンニュートラルの達成を目指して、サプライチェーン全体を通じた脱炭素化に取り組んでいます。なかでも製造工程で発生する CO₂ の削減や再生可能エネルギーへのシフトを積極的に進めています。2030 年までに温室効果ガス排出量を 2018 年比で 30%削減するグループ目標は、日本のガラス製造業とし

て初めて「科学的根拠に基づいた目標」として SBT イニシアティブ(SBTi)*¹ に認定されており、本プロジェクトはこの目標達成に向けた取り組みの一環です。

NSG グループは、これらの取り組みを通じて事業の脱炭素化に向けた活動を加速させ、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

以上

[関係者コメント]

ピルキントン UK 社 マネージング・ディレクター Neil Syder

当社のグリーンゲート工場でコスト効率に優れたグリーン水素を確保することで、Low カーボンガラスの生産を恒久的に拡大することができ、このガラスの使用がより一般的になることで、サステナブルな建築市場の実現が可能となります。

事業所内でグリーン水素を製造する私たちの計画は、世界のガラスメーカーの脱炭素化の取り組みにおける先進的な事例となるでしょう。

また、年間 15,000t の CO₂ 排出を恒久的に削減できることは、当社グループが掲げる「科学的根拠に基づいた目標」として SBT イニシアティブ (SBTi) に認定された目標、およびカーボンニュートラルの達成に向けた大きな前進となります。

グレニアン・ハイドロジェン社 CEO Adam Baddeley 氏

グレニアン・ハイドロジェン社は、ピルキントン UK 社のグリーンゲート事業所でグリーン水素プロジェクトを進めることができ、大変嬉しく思っています。このプロジェクトは、2021 年に実施された商業規模の実証試験で、水素を使用した安全な操業が確認されたことに基づいており、2027 年に操業を開始できるよう 15 年間に渡る政府補助の手続きを進めています。

ピルキントン UK 社はその業態の特性上、多くのエネルギーを使用しており、その一部をグリーン水素に切り替えることで、工場からの CO₂ 排出量を大幅に削減することが期待できます。このプロジェクトはセントヘレンズをはじめリバプール地域の持続可能なエネルギー・ソリューションを構築する上で、エキサイティングな一歩となるでしょう。

*** 1 SBT イニシアティブ(SBTi)とは**

CDP (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト) 、国連グローバル・コンパクト、WRI (世界資源研究所) および WWF (世界自然保護基金) による共同イニシアティブで、気候変動リスクの低減に向けて企業に対し、科学的知見と整合した温室効果ガス削減目標の設定を推進しています。

グレニアン・ハイドロジェン社について

グレニアン・ハイドロジェン社 (Grenian Hydrogen) は、低炭素エネルギー・プロジェクト開発企業である Progressive Energy 社、欧州最大の再生可能エネルギー発電企業である Statkraft 社、持続可能性を重視するオルタナティブ資産投資管理会社である Foresight 社で構成されています。このコンソーシアムは、英国イングランド北西部と北ウェールズで、複数の低炭素 (グリーン) 水素製造プラントを開発しています。

NSG グループ (日本板硝子株式会社およびそのグループ会社) について

NSG グループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズ、タイミングベルトの補強材であるグラスコードを中心とした特殊ガラス繊維やガラスフレック、およびファインガラスです。 <https://www.nsg.co.jp>

[参考]

世界初、水素エネルギーによる建築用ガラスの製造実験に成功（2021年9月3日公表）

<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/media/ir-updates/archive/announcements-2021/ag-production-powered-by-hydrogen>

「世界最高水準」CO2 排出量を 50%カット 建物の脱炭素化に寄与する Low カーボンガラスを欧州で新発売
（2023年10月10日公表）

<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/media/ir-updates/announcements-2023/low-carbon-glass>

<お問い合わせ>

（報道関係等） 広報部 Tel : 03-5443-0100